

行田市忍川浸水対策連絡協議会



設置要綱について

目的

- 令和元年東日本台風により、一級河川忍川の越水、溢水等により甚大な被害を受けた地域の浸水対策を推進するため、市及び地域の住民が相互に連携を図り、情報を共有することを目的とする。

組織

- 関係自治会の会長（12自治会）
 - ・第二旭 向友会 緑町 一佐間 二佐間 佐間神明 佐間三間 下忍区 堤根区 樋上区 南駒形 下忍団地
- 行田市（部長級5名）
 - ・建設部長（座長）、危機管理監、都市整備部長、環境経済部長、総合政策部長
- オブザーバー（2機関）
 - ・埼玉県行田県土整備事務所、独立行政法人水資源機構利根導水総合事業所

所掌事項

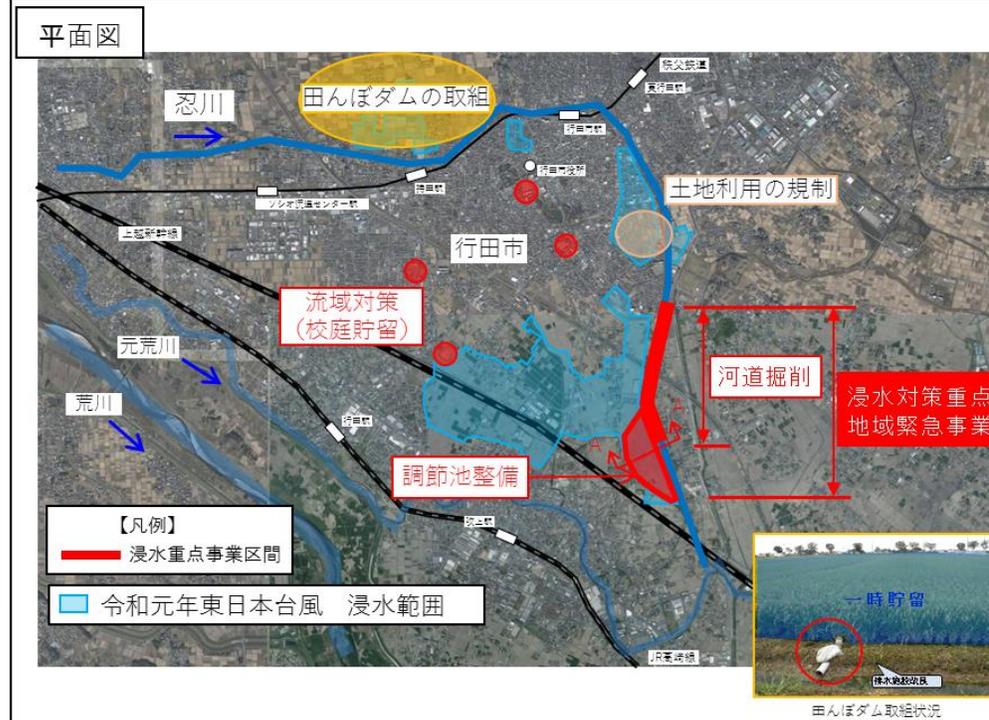
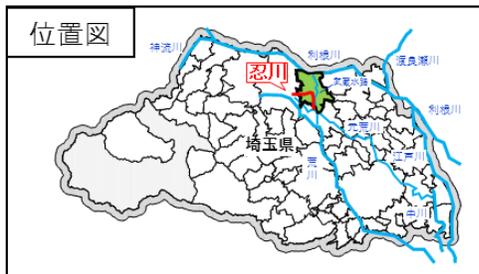
- 忍川整備に関する
 - ・情報共有
 - ・地域の意見集約
 - ・その他忍川整備の促進に必要な事項

浸水対策事業の概要

浸水対策重点地域緊急事業【利根川水系忍川】（埼玉県・行田市）

浸水重点

埼玉県行田市の利根川水系忍川では、令和元年東日本台風により、床上浸水55戸、床下浸水194戸の甚大な浸水被害が発生。このため、浸水対策重点地域緊急事業により、調節池の整備、河道掘削、校庭貯留等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



- 〈県・市の独自事業〉
- 県単独事業
 - ・県：樹木伐採・土砂掘削、堤防整備
 - ソフト対策
 - ・県：中高頻度の水害リスク情報図作成
 - ・市：マイ・タイムライン作成
 - 適切な維持管理
 - ・県：定期的な土砂撤去等
 - 流域対策
 - ・市：田んぼダム、市街化調整区域の浸水リスクが高いエリアにおける開発許可の厳格化

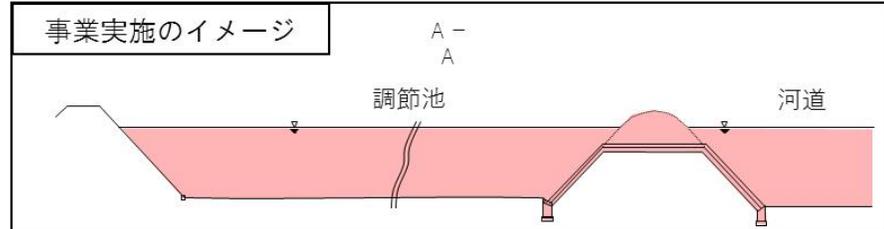
【全体計画】
 河川名：一級河川利根川水系忍川
 事業内容：調節池、河道掘削、橋梁架換、用地買収、校庭貯留等
 全体事業費：約75億円
 事業期間：R3～R8
 施工地：行田市

【令和3年度当初】
 事業内容：用地買収、測量設計等
 事業費：506百万円（国費252百万円）



浸水戸数		
地区名	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)
合計	55	194

※令和元年東日本台風による浸水被害



※各施設は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性もある。
 ※防災・安全交付金については、国の意図を示すものであり、計画への配分後の用途は地方の裁量に委ねられ、国の意図と異なる配分を妨げるものではない。

※R3.3.30
 国・県の
 記者発表
 資料

行田市の取組（今年度）について

忍川浸水対策事業に伴う3つの取組

①

校庭貯留（道路治水課） ※経過報告

②

田んぼダム（農政課） ※経過報告

③

**マイ・タイムライン等及び情報伝達訓練
（危機管理課） ※経過報告**

①校庭貯留

○小学校4か所【忍、南、西、泉】において実施予定

※R4年度に忍小の工事を完了。R5年度は南小の工事及び西小の実施設計に着手中

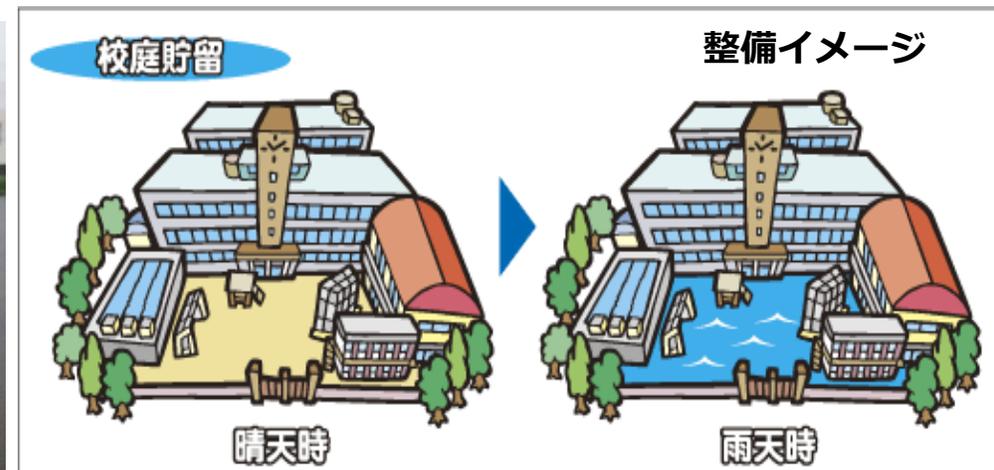
	貯留量 (予定)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
忍小学校	967m ³	実施設計	工事				
南小学校	1,150m ³		実施設計	工事			
西小学校	970m ³			実施設計		工事	
泉小学校	1,280m ³				実施設計		工事



施設構造



雨水貯留実施状況

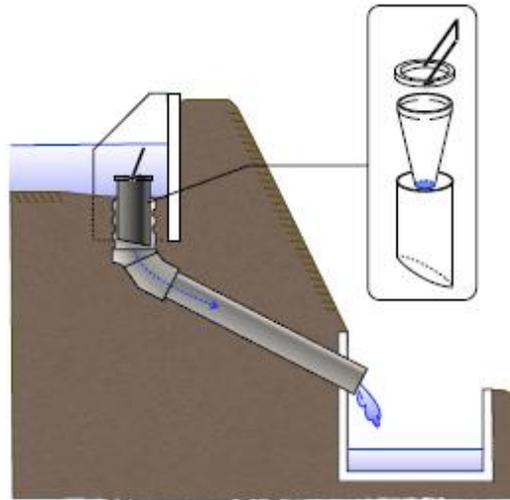


② 田んぼダム

○ 田んぼダム事業について

- 令和2年7月に市内17の多面的機能活動組織に田んぼダムへの取り組み依頼を行い、田んぼにある排水管を止水し雨水を貯留する方式で実施したところ、その運用過程において、大雨が予想される前に排水管を止水する操作が必要であり、協力者である農家の負担が大きいことが課題として明らかになりました。
- こうしたことから、地元の負担軽減を図り治水効果を高めることを目的に、令和4年度、星宮地区内の農地約6haに田んぼダム用水位調整管を設置しました。また、新潟大学農学部と連携し田んぼダムの治水効果解析を行い、治水効果があることが示されました。

○ 田んぼダム詳細（イメージ図）



田んぼダム用フリードレーン

※管流入部及び管流出部の口径をそれぞれ15cm・5cmとし、流出を抑制。管を上下にスライドすることにより、田んぼの水位をコントロールする仕組み（水位調整管は塩化ビニル製）

【担当課・連絡先(TEL/メール)】

行田市環境経済部農政課基盤整備グループ

TEL048-556-1111内線373 メールnosei@city.gyoda.lg.jp

③ マイ・タイムライン等及び情報伝達訓練

(1) マイ・タイムライン等の普及啓発

まちづくり出前講座を活用し、各地区や団体等の会合に危機管理課職員が出向き、災害発生時の対応や備えに関して普及・啓発活動を行っているとともに、要望に応じて「地震体験」なども行っています。

【主な内容】

- マイ・タイムラインの普及啓発
- 水害対策に特化したDVDの上映及び解説
- 市の地域特性を反映した講座の実施
- 起震車を用いた地震体験
- 防災クロスロードゲーム

【令和4年度の実績】

- 実施回数：19回
- 平均参加者数：33名

起震車による地震体験



(2) 情報伝達訓練の実施

本協議会の委員を対象として、情報伝達メールの発信により、台風の接近を想定した災害時のシミュレーションを実施しました（昨年度に続き2回目）。

【内容】

- 台風接近に伴う注意喚起
- 気象災害への備え
- 佐間水門の閉門



行田市の安全・安心のため
全力で取り組んでまいります

○ 問合せ先：協議会事務局（道路治水課）
556-1111（内線5716） doro@city.gyoda.lg.jp